

二〇一九年度第一回大蔵谷ヒューマンサイエンスカフェ

明石の文学シリーズ第一回

新しい元号「令和」は『万葉集』『梅花歌卅二首』の序文を典拠としています。当時、北九州にあった大宰府には、大伴旅人や山上憶良など優れた歌人が集まり、和歌の催しが頻繁に行われていました。「梅花歌卅二首」もそうした環境のなかで詠まれた作品です。「国書を出典とする元号は初」と話題になっていますが、果たして作者たちはどのような文化的環境にあったのでしょうか。大宰府と明石の意外な縁にも触れつつ、新元号、そして『万葉集』についてお話ししたいと思います。

新元号「令和」と明石

講師

中村 健史

神戸学院大学人文学部准教授

2019年 5.22 (水)

18:00 ~ 19:00 (17:30 open)

場所：大塩邸 (地域研究センター明石ハウス)

明石市大蔵八幡町 5-23

予約不要・参加費無料

神戸学院大学地域研究センター

☎ 651-2180

神戸市西区伊川谷町有瀬 518

☎ 078-974-4232 (火・水・金)

E-mail: frb@human.kobegakuin.ac.jp

■バス：JR明石駅より神姫バス「黒橋」下車、徒歩9分

■電車：山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分

JR「明石駅」下車、徒歩15分
(南口より国道2号線を東へ)

■車：国道2号線の黒橋東交差点を南に曲がり、80メートルほど進んだ右側にコインパーキングがあります
(有料：1時間200円 最大料金400円)

